

神戸市、小学校の児童や卒業生グループ「玉ーアクアリウム」が 明石川を調査し作成した 「明石川オリジナル図鑑（2023年改訂版）」が完成

神戸市では、海と山に育まれた神戸の豊かな自然の恵みを楽しむとともに、次世代に残していくため、市民とともに生物多様性保全の取り組みに力を入れています。

この度、明石川を守り育てる活動をしている神戸市立の小学校の児童や卒業生で構成されているグループ「玉ーアクアリウム」が、川を調査し作成・編集した「明石川オリジナル図鑑（2023年改訂版）」が完成しました。

「明石川オリジナル図鑑」を神戸市ホームページに掲載するとともに、小学生たちの活動を紹介することで、市民の生物多様性への理解と保全活動の広がりを促進していきます。



1. 明石川オリジナル図鑑（2023年改訂版）

本図鑑には、魚類、甲殻類、昆虫類など110種類の生きものが掲載されています。小学生たちの実体験に基づいた内容が、イラストや写真を用いてわかりやすく紹介されており、生きものたちの最近の生息状況が分かるようになっています。

- ・明石川オリジナル図鑑 URL

https://www.city.kobe.lg.jp/a66324/biodiversity_akashi.html

ミナミメダカ
南目高

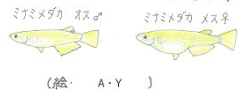

Oryzias latipes
メダカ科 メダカ属
本州～沖縄県
4cm

絶滅危惧Ⅱ類 兵庫県要注目種
神戸市クラック

明石川には上流から河口まで広く生息していますが、たくさんいるのは、用水路や支流の小川や下流～河口の静かになっているところ。どの場所も水の流れが弱くて、水はそれほどきれいではないけれど、栄養がいっぱいあって、プランクトンが多いところです。

2020年ごろからは、田中川用水路や平野大池用水路で1000匹以上のミナミメダカが確認できるようになりました。
(S-T)

ミナミメダカ オス♂ ミナミメダカ メス♀
(絵: A・Y)

4月に支流の細田流にいたミナミメダカのペアです。まさに春の小川です。



明石川中流でつかまえたミナミメダカの成魚。明石川にはたくさんのミナミメダカがいるので、うまいです。

110

アカミミガメ
赤身亀

Trachemys scripta
ヌマガメ科 アカミミガメ属
放流によりほぼ日本全国

28cm

特定外来生物 兵庫県警戒種
緊急対策外来種 緊急対策外来種
緊急対策外来種 緊急対策外来種

明石川水系では、深く流れがゆるやかな場所に生息し、雑食で成体になると水をよく食べています。オスは前足の爪が長く伸びます。日光浴が好きで明石川の静けさでは集団で甲羅干しをしている姿が見られます。鳥駆除をしていますが増え続けているアカミミガメは命を無駄にしないうちに肥料にしたり解体して食べています。鶏肉についておいしです。
(R-N)



明石川中流で捕まえたアカミミガメの幼体です。明石川水系で繁殖しています。



しじりのカゴ網で捕まえたアカミミガメの未成体へ成体です。鳥駆除をしても増え続けています。

アカミミガメ オス♂ (絵: Y・S)

129

2. 玉ーアクアリウム

玉ーアクアリウム（代表：小田 隆司氏）は、市立玉津第一小学校（神戸市西区小山）の児童、卒業生（中学・高校生）、保護者で構成され、明石川を守り育てる活動をしているグループです。明石川において年間を通じて生物（魚、昆虫、貝等）を採集・観察することにより、川の環境を調査するとともに、在来種は観察後放し、外来種は駆除（食べる等）する等の活動を行っています。

活動の成果は、子どもたちが生物をよりよく理解することや記録することを目的として、毎年手作りの生物図鑑「明石川オリジナル図鑑」として取りまとめています。生物図鑑の原稿・絵の作成、編集は子どもたちが行っています。

2023年9月1日に神戸市と明石市の間で「生物多様性を守り育てるための連携・協力に関する協定」を締結しましたが、今後、玉ーアクアリウムに参加・協力いただき、両市を流れる明石川において合同の生物調査を実施する予定です。

- ・ 活動報告（環境省こどもエコクラブホームページ）URL

<https://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/profile.php?id=361>